

2015年9月8日

三井化学株式会社

宮城県南三陸町にて「ふしぎ探検隊」の化学実験教室を開催します

～東日本大震災復興支援に向けた継続的な支援活動～

三井化学株式会社（社長：淡輪敏）は、東日本大震災の被災地復興に向けた継続的な支援活動の一環として、9月12日に宮城県南三陸町で化学実験教室を開催します。今年度は、一般社団法人南三陸復興推進ネットワークが主催する「南三陸わらすこ探検隊」※²のプログラムの中で、南三陸町の小学生約40名が参加します。

当社は、2011年より毎年社員がボランティアとして全国から集まり、被災地の子どもたちの心のケアや感性を育む目的で、「ふしぎ探検隊」※¹化学実験教室を開催しています。これまでに参加した子どもは約300名にのぼり、化学のふしぎに目をキラキラ輝かせながら、日常とは一味違うひと時を楽しんでいます。過去には「ウレタン発泡実験」や「クロマトグラフィーを用いたカレンダー作り」などを行っており、5年目となる今年は、毎年行っている「ジャンボスライム」作り（ゲルの保水性を学ぶ実験）に加えて、新たに「ヒエルン（冷却パック）」作りを行い、子どもたちは尿素が水に溶けるときに熱を吸収する性質を学び、「化学のふしぎ」を体験します。

三井化学グループは、実験教室の開催を含め、今後も被災地の一日も早い復興に向けた支援活動を継続してまいります。

【日時】 2015年9月12日（土）

午前の部 9:00-11:00、午後の部 13:30-15:30

【場所】 宮城県南三陸町入谷公民館（宮城県本吉郡南三陸町入谷字水口沢 12-3）

<昨年の様子>



※1 ふしぎ探検隊

次世代を担う子供たちに「化学の楽しさや面白さを伝えたい」という当社社員の思いから、2006年に始まった化学実験教室です。活動の輪を全国に広げ、各事業所の地元の学校やイベント等で開催しています。

※2 南三陸わらすこ探検隊

一般社団法人南三陸町復興推進ネットワークが実施する被災地域の子供たちが安心して学べる場の提供と地域のコミュニティ活性化を目的としたプログラムです。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井化学株式会社 コーポレートコミュニケーション部 電話 03-6253-2100